

# kiji arita

kiji arita Exhibition 2022 with 530week  
Popup Sales Exhibition  
5/25~5/30 11:00 – 20:00  
@ Shibuya HIKARIE 8/ COURT

kiji arita の今年初のポップアップ展示販売のお知らせです。

kiji arita とは、いつかは産業廃棄物になるかもしれない有田焼の生地（キジ）を再解釈し、新たな光を当て循環させて行くことを目的としたプロジェクトです。kiji（生地）とは、絵付けや釉薬が施される前の状態の素焼きの形状のことを言います。有田焼は、今も昔も製造過程に必ず職人の手作業が入りディテールが際立ち、質が高いのが特徴的です。しかし、残念ながら時代の変化についていけず、倉庫に眠っている生地が存在します。kiji arita は、戦後から現代までに作られた生地を使用し、有田焼を新しい解釈で翻訳した再生テーブルウェアのコレクションです。

開発のきっかけは、オランダ人アーティストのサンダー・ワッシンクと一緒に倉庫に眠る有田焼を見て、その多様性に驚き、興味を持ちました。昔から日本の高級和食器を多く製造していた有田焼は形状やサイズの多様性があります。そして、一つ一つ職人の手によって細部が施されているため質が非常に高い器等です。これが、廃棄される寸前になっている事が非常に残念に感じました。また形状がデザインされた年代が戦後から現代のものであると知り、アーカイブの要素があることにも興味を持ちました。これらの要素をどのようにうまく世に伝えたら良いかというところから、開発を始めました。

一つの一つの形には、その時代時代の職人の経験や知識、時代の記憶が詰まっています。その時代に必要とされデザインされた形状が集まり一つのコレクションにまとまっています。茶碗、ティーポット、カップ、小皿、ディープボールなど11のアイテムで構成されています。すでに製造停止となっているものを使用しています。在庫は限られており、売り切れた時点でその形状は終了となります。スタンダードですが、リミテッドな商品となります。

色は、それぞれの在庫数が異なるため、シンプルに特徴ある一色でまとめています。有田は、深い緑の岩山に囲まれた自然がとても美しい町です。kijiarita の釉薬の色は、その自然に囲まれた有田ダムの深く澄んだ青緑の水の色を再現しました。季節や太陽の光によって水辺の色が深緑に現れたり、青緑に映ったりと変化します。この釉薬も、窯の中の微妙な温度変化や設置される場所、空気の流れによって色が変わります。本来の有田焼では、同一プロダクトによっての色の変化はタブーとされることが多いですが、kiji arita は、この釉薬の色の変化を特徴としています。微妙な青緑の美しいグラデーションが、それぞれの器に個性や表情をつけています。カップ類のみ、外側はマットで仕上げられており、艶ありの部分とのコントラストや質感を楽しんでいただけます。

今回の展示では、54 形状を展示販売します。各時代に日本の食文化が作り出した有田焼の多様な形状をお楽しみください。

今回の展示販売は、530Week の中村氏にプロジェクトの共感を得て、ヒカリエでの展示が実現しました。530は、捨てられている素材を使ったものづくりの手法＝アップサイクルをメイン領域に、取り組みをおこなっている団体です。





## Sunday afternoon with kiji arita

五感を通して、kiji aritaを知っていただくイベントです。  
当日、参加者の方には、ご用意しているスイーツを入れる器として展示の中からご自身の気に入った kiji arita のお皿を一枚選んでいただきます。そのお皿を使って、kiji arita の生産地、佐賀県有田町のご当地スイーツを嬉野茶と一緒に提供。ゲストのうなぎの寝床代表、白水氏と今回のコラボレーター 530Week 代表 中村元気、kiji arita の石澤のトークセッションを予定しています。  
コロナ下で多くのイベントが、バーチャルになりがちです。この機会に会場にお越しください。プロダクトの質感を実際に手にとって感じたり、お茶をしながらものづくり、文化や未来について考えるひと時をみなさんと共有できればと思っております。

お気軽にご参加ください。

イベント：Sunday afternoon with kiji arita

日時：5/29(日) 14:00-16:00

参加：5,000 円

(参加及び、当日お選びいただいた中皿を1枚、スイーツ、お茶)

定員：30名

参加申し込みはこちらから。

<https://kijiarita2022-530week.peatix.com/>



ゲストプロフィール：

株式会社うなぎの寝床 代表取締役

白水高広／シラミズタカヒロ

1985年佐賀県小城市生まれ、大分大学工学部福祉環境工学科建築コース卒業。2009年8月厚生労働省の雇用創出事業「九州ちくご元気計画」に関わり2年半プロジェクトの主任推進員として動く。同事業は2011年グッドデザイン賞商工会議所会頭賞を受賞。その後2012年7月にアンテナショップうなぎの寝床を立ち上げるとともに、現在まで地域文化商社として活動を続ける。地域文脈のリサーチから、メーカーとしての商品開発、問屋業・小売業を横断して連動させながら、地域の方々がやれなさそうな領域を事業化していく。

<https://unagino-nedoko.net>

530 代表

中村元気／ナカムラゲンキ

1992年生まれ。2013年に原宿のキャットストリートで地域活動「CATs」を始める。2022年6月には100回を迎える地域のクリーンアップで地域の人を繋ぐ。2018年からは表参道の落ち葉を利用したコンポスト、2020年からは屋上菜園を開始。

2018年からは、ゴミ問題の根本解決を目指すために、「ゼロウェイストなライフスタイル提案をするコミュニティ「530(ゴミゼロ)」を開始。捨てられている素材を使ったものづくりの手法＝アップサイクルをメイン領域に、取り組みをおこなう。主な企画として、パン屋さんの余ったパンの耳をつかった bread beer がある。

<https://530week.com>

ゲストシェフ：

佐藤幹樹

1993年生まれ、調理師専門学校卒業。

都内フレンチレストラン、ビストロで勤務ののち、株式会社 Cherche 入社。2021年3月より LANTERNE 代々木上原店マネージャーを務める。街に灯るランタンのあかりに老若男女みんなの心が集うというコンセプトの下、料理だけでなく、空間や雰囲気作りに努める。2022年4月より catsstreetfarming にも参加し食を通じた、都市における循環についても勉強中。





アーティスト・デザイナー

Sander Wassink /サンダー・ワッシンク

2009年から、オランダのアイントホーフェン市のワッシンクが仲間と共同設立した Sectie-C を拠点に活動している。2012年にデザインアカデミーアイントホーフェンの人間と生活学科を卒業し、作家活動の他、同校で講師を務め、アムステルダム建築アカデミー、マーストリヒト美術デザインアカデミー、ArtCoDe Tilburg、バルセロナの Elisava School of Design and Engineering で教鞭をとった。ワッシンクの作品は、製品(プロダクト)そのもののデザインではなく、創造的なプロセスの意味に焦点を当てている。制作手法は有機的に進化しており、機能や素材を組み合わせることで、新しい形やアイデアが生まれている。作品は、Princessehof Ceramics Museum(国立陶磁器博物館、オランダ)や Museum Boijmans Van Beuningen (オランダ) など、その他に所蔵されている。

<https://www.sanderwassink.nl/site/>



kiji arita 主催者 AOIMOK 代表

石澤依子 /イシザワヨリコ

英国ノッティンガムトレント大学 (BA) Architecture Interior Design 学科卒。インテリアデザイナーとしてロンドンで働く。2003年に日本に帰国。その後、東京でパブリックアートを含んだ都市計画プロジェクトに携わる。2015年、有田焼 400 周年記念事業 2016/プロジェクトにプロジェクトマネージャーとして参加。国内外のデザイナーと新しい有田焼開発に携わる。2016年から、佐賀県、有田町運営する Creative Residency Arita のレジデンスプログラム・ディレクターを務める。京都・有田(時々オランダ)を拠点に、欧米ブランドやメーカーとデザイナー・アーティストとプロダクト開発や、アート・デザイン展示・企画などを行っている。



kiji arita Exhibition 2022 with 530week

展示販売 2022

日時：5/25-5/30 11:00 - 20:00

場所：Shibuya HIKARIE 8/ COURT

〒150-8510 東京都渋谷区渋谷 2-21-1

ヒカリエ8 皆 Creative Space Court 8/

主催：kiji arita

協力：一般社団法人 530、

渋谷ヒカリエ Creative Space 8/



kiji arita

デザイン：Sander Wassink, AOIMOK 石澤依子

アートディレクション：Sander Wassink

Photo：Ronald Smits

協力：駐日オランダ王国大使館

お問合せ：kijiarita@gmail.com (石澤)



kiji arita